

新宮山彦ぐるーぷ第2099回

令和2年度 世界遺産「吉野・大峯」地域連絡協議会

◇実施日：2020年10月14日（水）晴

◇参加者：梶野照雄

1名

例年9月に開催されている世界遺産地域連絡協議会だが、今年は新型コロナウイルスの影響で一カ月遅れての開催となった。二日前の12日に沖崎さんから電話で「風邪気味で欠席する」と連絡があり、出席者は一人になった。



金峯山寺の蔵王堂

会場のビクターセンター

五條良知官領

12時過ぎに吉野着。会場のビクターセンター前の店で昼食を摂るが、20人位のお客さんが座っていた。まだ紅葉もしていないこ

の時期の平日にこんなに多くの人が吉野を訪れていることに少し驚いた。

13時丁度に金峯山寺の五條官領、奈良県文化資源活用課の酒元課長の挨拶で開始された。

例年出席率が低い自治体だが、今年は五條市、吉野町、黒滝村、天川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村の各市町村すべてが出席で、参加人数が多くなった。



文化庁の鈴木氏

正面右に森林管理事務所

左手は各市町村

今回の講演は、文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室の鈴木地平氏で、「世界遺産に係る最近の動向」のお話があった。イコモスに推薦が決まっている「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」についての興味深いお話が聞けた。

公園の後、出席者の自己紹介、協議事項、情報交換に移った。小仲坊の五鬼助さんから「太尾登山口のように奥駈道では無いところにも奥駈道と表示するのは、いかがなものか。奥駈道に含まれてい

る前鬼周辺に奥駈道の石柱が無いのは何故か」との意見が出て、当時石柱の設置に関わった金峯山寺の担当者から「石柱は規格を決めて、各町村が立てる場所を選定、発注した。必要予算はそれぞれが請求した」と説明があった。

正確ではない表示は訂正が必要なことも確認された。

最後に、五鉾峰のように崩れて、登山道が違ふところにてできる事について文化庁の見解を聞いてみた。「一三〇〇年の間、まったく同じところを通っていたとは思っていない。崩れている所は直したいのだが、山中であり、修復が不可能な場合は迂回路ができるのは仕方がない。過去にも新しい道がついて、そこが奥駈道と認知されてきたと思う」 個人的見解と断りが付いたが、現状を理解していただけたようだった。

午後四時に閉会、車が一杯で出られないので、皆さんと雑談、五條官領から「4、5月はマイナス95%位の落ち込みだったが、9月に入ってから60〜70%まで回復してきた。10月からアートのイベント「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」を開催しているの、若い人も多く訪れているようだ」とのお話があった。

(記：梶野)

行動タイム

堺 10:45→12:10 吉野山ビジターセンター→13:30 協議会開会→

16:00 協議会閉会 16:35→18:20 堺